

# 緑の少年団

## 緑の少年団とは

緑の少年団は、次代を担う子どもたちが緑と親しみ、緑を愛し、緑を守り育てる活動を通じて、ふるさとを愛し、そして人を愛する心豊かな人間に育っていくことを目的とした自主的な団体です。

## 緑の少年団の生い立ち

### 誕生

昭和35年、国土緑化推進委員会が「グリーン・スカウト」の名称で緑化を実践する少年団の結成を呼びかけ、各地で少年団が誕生しました。



### 成長

昭和44年、秋田県から「緑の少年団の結成について」の提案があり、以後各県で緑の少年団が結成され団数も著しく増加しました。

昭和49年第25回全国植樹祭(岩手県)に緑の少年団が参加し、全国的に注目を集め、全国各地で緑の少年団の結成に拍車がかかりました。

### 発展

緑の少年団の成長に伴い、昭和50年代になって「都道府県連盟」の組織化が始まりました。

平成元年、緑の少年団は2000団体、団員も18万人と大きく成長しましたが、「みどりの日」の制定を機に、さらに、少年団活動の内容充実や相互の連携強化を図ることを目的として、同年、「全国緑の少年団連盟」が設立されました。

現在(平成31年1月)の団体規模は、3290団体、約33万人となっています。

### 年表

(参考1)

1960年(S35)	国土緑化推進委員会による設立提唱
1974年(S48)	「全国育樹祭」(岩手県)への「緑の少年団」参加で全国的に注目
1975年(S50)	林野庁による緑の少年団の育成・強化方針の打出し
1976年(S51)	「緑の少年団活動発表大会」開始
1989年(H1)	「全国緑の少年団連盟」設立
1990年(H2)	「緑の少年団全国大会」開始
1999年(H11)	「緑の少年団国際交流事業」開始
2015年(H27)	「緑の少年団指導者研修交流会」開始

### 団数・団員数の推移

(参考2)



## 緑の少年団の活動

緑の少年団の活動は、学習活動、奉仕活動、レクリエーション活動の3つに大別されます。英気を養い、体力をつくり、団結と協調の精神を育てるうえで、大切な活動となっています。

### 学習活動

学習活動では、団員の学力、年齢などに応じて展開されており、緑や森林の働きの学習、緑を守る学習、自然のなかの鳥獣・昆虫などの観察・愛護の学習などから緑や森林を守ることの大切さを学んでいきます。



森を育てる学習



自然学習



木工教室

### 奉仕活動

奉仕活動は、汗を流すことの尊さ、社会の一員としての自覚を養うためにも、大切な活動です。地域の状況、団員の構成、その他により自主的な活動として、緑の羽根募金運動への協力、緑化行事への参加、公園・緑地帯の清掃、パトロール、標示板の設置や取り替えなどがとりあげられています。



緑の羽根募金



植樹風景



清掃風景

### レクリエーション活動

レクリエーション活動では、ハイキングやキャンプなどが一般におこなわれていますが、子供たちにとって最も楽しい時間。明るい笑顔、はつらつとした姿にも集団活動をととして培われた団結と協調の精神がうかがえます。



キャンプ



食事風景



ツリークライミング

## 全国規模・ブロック規模の活動

毎年開催されている全国植樹祭・全国育樹祭・緑の感謝祭において、各旗入場、苗木贈呈、天皇皇后両陛下のお手植え・皇族殿下によるお手入れの介添え等、重要な役割を担います。優れた活動を行った団は、式典の中で全国の緑の少年団を代表して活動を紹介します。全国で開催される緑化行事でも、緑の少年団が活躍をします。



### 全国植樹祭等での活躍



お手植え



お手まぎ



国旗掲揚



### 全国緑の少年団活動発表大会



みどりの奨励賞受賞団体



### ブロック交流会



東海三県下のみどりの少年団(隊)が集い、自然の中で野外活動を通じて、緑の大切さを学び、規律・協同・奉仕の心を養い、自らの社会を愛する心豊かな青少年を育成するため、昭和51年より毎年開催しています。

## 緑の少年団の育成



### 育成会

育成会は、少年団員の父母をはじめ、地域や学校などの賛同者によって構成され、物心両面で少年団の育成と活動を支援しています。



### 協力機関

都道府県、緑化推進委員会、市町村、小・中学校、PTA、森林組合、森林管理局・署、その他。



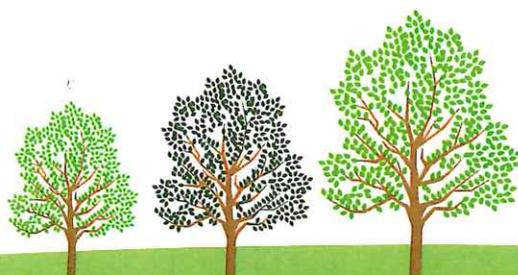
### 安全会

活動中に不幸にして事故があったときの補償制度として、国土緑化推進機構内に「緑の少年団安全会」を設けています。



### 助成

全国緑の少年団連盟では地域単位で活動している緑の少年団等を主な対象として、学習活動等の充実、地域との連携強化の事業に対し助成しています。(助成額1団体30万円を限度)



## 緑の少年団のつくり方

- 団員を募集して名称をつけましょう。
- 団の決まり(団則)をつくりましょう。
- 育成会(ご家族や地域の方々によるサポーター)をつくりましょう。
- 都道府県の緑の少年団連盟に登録しましょう。  
都道府県の緑化推進委員会にお問い合わせ下さい。  
<http://www.green.or.jp/network/>
- 安全会などに加入しましょう。  
国土緑化推進機構にお問い合わせ下さい。  
(TEL:03-3262-8451)
- 活動のすすめ方
  - ・年間の活動目標と活動計画を立てましょう。
  - ・団員を中心に、指導者、育成会、OB・OGが協力して個別計画を立てましょう。
  - ・安全マニュアルをつくりましょう。



\*詳しくは都道府県、緑の少年団連盟にご相談を



全国緑の少年団連盟  
公益社団法人 国土緑化推進機構

〒102-0093  
東京都千代田区平河町2丁目7番4号 砂防会館別館  
TEL:03-3262-8451(代) FAX:03-3264-3974  
E-mail: info@green.or.jp <http://www.green.or.jp>